

令和元年度の学校評価

<p>令和元年度の重点目標</p>	<p>1 新学習指導要領の趣旨を職員間で共有するとともに、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を学年会や教科会で検討し、進めていく。</p> <p>2 自立活動を含めた個別の指導計画を作成し、適切な指導、評価を実施する。</p> <p>3 生徒の心身の健康を保持・増進するための全校組織を立ち上げ、全職員が健康教育の充実に努める。また、事故防止などの安全指導にも配慮する。</p> <p>4 学校評議員や保護者、関係諸機関や地域との連携をさらに強化し、社会に開かれた教育課程の実現のために積極的な地域資源の活用を検討し、学校経営や具体的な教育活動の改善を図る。また、学校の情報をHP等で積極的に発信していく。</p> <p>5 職業生活に必要な「挨拶」「報告」「質問」等が適切にできるように指導する。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価と課題
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の充実 ・情報機器の活用と管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA会員主導による各活動の積極的推進 ・情報機器の利用推進と校内整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度並みに活動を行うことができた。ただ、PTA活動が多いという保護者アンケートがあった。 ・職員の情報機器の更新がスムーズに行うことができた。また、タブレット端末用のサーバーの作成ができた。今後の維持・管理が課題である。
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・50分授業の実施における授業改善 ・個別対応における自立活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の特別時間割についての見直しを行う。 ・儀式(始業式、終業式等)の日程等の見直しを行う。 ・自立活動の実施方法や評価方法などを学年職員で話し合い、内容や目標設定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・儀式について、個別の事情に配慮した時間を設定し、スムーズに下校できるようにした。 ・特別時間割については、本年度中に改善案を提示し、次年度実施する。 ・自立活動について、各学年で内容や目標を検討して設定することができた。時間の確保が課題である。
<p>指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの指導の充実 ・外部機関と連携した安全教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの正しい使い方等についての講義の場を設定する。 ・春日井市等と連携して避難所運営の準備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの正しい使い方について、外部講師を招き、講義を行った。講義の前後でアンケートを取った結果、生徒の意識の向上が見られ、一定の効果があったと考える。 ・ヘルメットの増設、非常時の避難の在り方について検討したが、外部との連携が不十分であった。
<p>保健体育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会自立、職業自立につながる継続的な健康教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室(生と性について)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いた健康教室を通して、生と性についての理解を深めることができた。事後の学習からも意識の向上が見られた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の保持・増進 ・食育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のトレーニングを継続して行うことで、健康の保持や体力向上が図られている。 ・給食週間を通して、食文化の理解や感謝の心を育むことができた。食事のマナー等の指導について不十分であったので、職員間の共通理解を進めていくことが課題である。
研修部	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の推進と、現職研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究2年間の成果をまとめる。 ・研修日を設定し、効率よく研修が進むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の研究の取り組みを引き継いで進めた学年もあり、2年間継続して研究を行った成果がでた。しかし、各学年の研究担当への負担が多くなってしまっているため、全職員が研究に関わったと実感できるようにしていきたい。 ・夏季休業中に研修日を設け、職員が積極的に研修に参加することができた。また、外部講師をお呼びしての研修も何度か実施し、充実した内容の研修を行うことができた。
進路部	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への進路情報の提供 ・職員への進路情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導主事が学年懇談に参加して、進路について情報を流し、関心を高める。 ・各学年会の生徒情報で、3年生の進路状況について情報を流し、必要な力を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年懇談会に何度も参加して、3年生の進路状況等を伝え、質疑応答も行い、保護者の関心を高めることができた。 ・2年学年会に進路指導主事、3年担任が参加して、進路状況について情報を流し、働くうえで必要な力を伝えることができた。
寮務部	<ul style="list-style-type: none"> ・校時変更に合わせて、日課や活動内容を見直し、より充実した寄宿舎生活が送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時刻の変更に合わせて、洗濯時間や活動について見直す。 ・余暇時間の使い方や余暇活動を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の掃除を毎日から1日おきに変更した。朝の活動にゆとりができることで、各自で時間の使い方を考え、余暇時間を有意義に過ごすことができた。下校時間が遅くなり、配膳を時間通りに始めることができないことがあった。来年は洗濯を毎日行うようにする。量が減り、下校後の活動がスムーズになることで、生活に余裕ができ、充実した生活が送れるようにしたい。

<p>1年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席・遅刻・早退をしない指導の充実 ・ 基本的な礼儀・挨拶 ・ マナーを守り、主体的に実践するための支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の支援もあり、長期欠席をする生徒はおらず、全体として欠席が少なかった。1年間皆勤の生徒も27名おり、学校に通うという基本的な習慣は身に付いた。 ・ 相手に伝わる挨拶、返事等ができるように言葉かけを続けてきた。しかし、自発的な挨拶は少なく、受け身な様子が多くみられた。今後も言葉かけが必要である。 ・ 登下校時のマナーやSNS上の課題は継続して指導が必要である。
<p>2年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や実習に向けた主体的な取組 ・ 礼儀やマナーの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭などの行事や体験実習に主体的に取り組むための支援の充実 ・ 礼儀の意識を高め、生活の中で確実に実践するための支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの生徒が自らの課題を意識して体験実習に臨むことができた。行事に関しても、主体的に取り組む姿が多く見られた。 ・ 1年時からの引き続きの指導で挨拶を元気よくするよう声かけをし、実践してきた。進んで挨拶できるように、今後も継続して指導していく必要がある。
<p>3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人生活に向けた生活習慣の確立とルール・マナーの徹底 ・ 生徒個々の実態を踏まえた適切な進路選択・決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場実習や卒業後の社会人生活を見据え、保護者との連携を図り、生活習慣の確立、ルール・マナーを守る態度について自ら見直すことができる支援の充実 ・ 生徒個々の実態や適性を把握し、職種や仕事内容、通勤時間等を具体的に示しながら適切に進路を選択・決定する支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんどの生徒は、毎日の行動が習慣となり、ルールやマナーを守る生活ができるようになった。また、自分の課題についても、授業等で振り返って見直すことができた。 ・ 日頃より、生徒、保護者、本人との話し合いをしたり、連絡を密にしたりする中で、生徒に適した職種や仕事の内容について方向性を見出し、実習を進めることができた。その成果として、全員が納得した進路先を決めることができた。
<p>学校関係者評価を実施する 主な評価項目</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の能力・実態を把握した上での適切な進路指導について ・ 健康教育に関する取組について ・ 開かれた学校に関する取組について 	